

ブルンジ月報（２０２３年４月）

１．内政・外政

- １７日、野党 CNL は、ブルンジ共和国大統領が宣誓の日に行ったブルンジ難民の本国送還の約束を実行していないことを糾弾。(Bonesha Radion)
- １８日、ブニョニ元首相の自宅２軒が警察と情報機関により搜索された。(SOS Media)
- ２０日、ブルンジ当局は 19 日現在、指名手配中のブニョニ元首相が行方不明であることを確認。(Rwanda News Agency)
- ２４日、最高裁判所報道官は、ブニョニ元首相が国家情報局（SNR）に拘束され、国家安全保障の低下、国民経済の適切な機能の低下、不当な個人的利益のための権力乱用の罪で訴追されていることを発表。(Rwanda News Agency)

２．開発協力

- ５日、ブルンジでは 100 万人以上が緊急支援を必要としているとして、国連人道問題調整事務所（OCHA）がブジュンブラで 1 億 9420 万ドルを必要とする「2023 年人道対応計画」を公式発表。人道対応計画によると、2023 年には約 150 万人が人道支援を必要とする。(Rwanda News Agency)
- １４日、アフリカ開発銀行（AfDB）は、ブルンジの農業シーズンに備え、3000 トン以上の肥料を緊急調達するために、400 万ドルを拠出予定との報道。(Rwanda News Agency)

３．経済

- １４日、３月 31 日にブルンジとコンゴ民主共和国は、ブルンジ、コンゴ民主共和国、タンザニア間の多国間電化標準軌鉄道（SGR）プロジェクトの一部であるギテガ-ブジュンブラ-ユビラ-キンドゥ区間の事業化調査および予備設計に関する契約を締結。(Railways Africa)

以上

以上